

平尾台自然観察センター～牡鹿鍾乳洞～見晴台～不動山～

堂金山～不動山～平尾台自然観察センター

平尾台自然観察センターからの 堂金山

2021年5月4日

季節は5月に入った。そろそろ台地にシランが咲き誇っているのでは？と、期待を膨らませて平尾台にやってきた。既に盛りを過ぎて傷んだ花も多い。とは言え、蕾もそこそこ残っていて、今年のピークには早かったのか？遅かったのか？情けないがよくわからない。それでも、立派に開花しているシランを見て、目の保養、心の癒しとなる。他の花々も生き生きと咲いて、文字通り「花の平尾台」になってきた。登山道に花が途切れることはなかった。



シランの濃いピンクが石灰岩とベストマッチ

<コース概要>

- 1、平尾台自然観察センター 11時27分
- ～ 2、牡鹿鍾乳洞
- ～ 3、見晴台
- ～ 4、不動山
- ～ 5、堂金山
- ～ 6、不動山
- ～ 7、不動坂
- ～ 8、不動洞への分岐
- ～ 9、車道
- ～ 10、平尾台自然観察センター 14時09分



1、平尾台自然観察センター 11時27分

ここに来る途中、吹上峠の駐車場は超満車状態で路上に車が溢れていた。こんなことなら自然観察センターの駐車場もヤバイかも？と不安な中、車を走らせた。ところが、こちらは奥の駐車場に入るとガラガラで拍子抜け。さっそく登山靴を履き、🎒おにぎり持ってスタート！



車道横の駐車場(トイレの前)は満車



点滅信号を渡らず歩道を右へ 11時33分



牡鹿鍾乳洞経由で見晴台を目指す！



歩道はここまで。車道を渡る。 11時35分



右の建物は平尾台自然観察センター



車道を歩くと左に下る道 11時37分



舗装道路を下って行くと… 11時38分



ムラサキツメクサ



2、社鹿鍾乳洞 11時40分 通過
親子連れが入洞している最中だった。
大人500円。子ども300円。

★社鹿鍾乳洞のご案内★

社鹿洞は昭和37年日本ケービング協会の探検によって発見された日本で二つと言われる珍しい垂直鍾乳洞です。

洞底(広庭)までの深さは30mで、洞内の獣骨殿からは、日本で唯一の川うその化石や、猿類獣骨、そして丁字河原ではナウマン象の臼歯の化石が発見され、あたかも恐竜の落とし穴といった感じさえ与えます。

又、洞内の景観は、地下水流、鍾乳石、奇岩、滝が雄大な姿を見せています。洞入口附近は自然公園となっております。

<説明看板より>



トウダイグサ



シロツメクサ

牡鹿洞を通過すると車道に出る。 11時46分

 <p>北九州国立公園 門司区 門司区 門司区 牡鹿鍾乳洞 洞内で2ヶ所所した洞窟には、 珍しい鍾乳鍾乳岩で、鍾乳岩の文様は、 地下水流の鍾乳石の鍾乳岩の鍾乳岩、 南北180米にわたって展開しています。 徒歩15分</p>	 <p>牡鹿鍾乳洞</p>
<p>車道を左に進むとスタート地点の駐車場</p> 	<p>右に曲がって見晴台を目指す！</p> <p>一目の車両進入禁止を通過 11時48分 右折して、農道を真っ直ぐ進むと不動山と 風神山の鞍部、不動洞への分岐に通じる。</p>  <p>帰路はここに戻る</p>
	<p>二目の車両進入禁止も通過 11時51分 この道を右に進むとすぐに分岐に出会う、 その分岐を左に進むと不動山に通じる。</p>  <p>通過</p>
	<p>沿道にシランが咲いている 時期が少し早いのか？まだ蕾が多い。</p>  <p>綺麗</p>



これ何？



タカサゴソウ



タツナミソウ



オカオグルマ



ウマノアシガタ



ニガナ



3、見晴台 12時10分
草花を撮影しながらようやく見晴台に到着。
ここの駐車スペースは約7台分。
ここから車道を真っ直ぐ行くと千仏鍾乳洞、
左へ進むと茶ヶ床園地へ行くことができる。
我々はここからフィールドに入り、花散策し
ながら不動山や堂金山を目指す。
曇り空だが、ヒバリの囀りが聞こえてくる。



見晴台の駐車スペース右端の柵から入る



柵が途切れた所から左のルートへ進む



不動山へ向かって進む 12時12分 快調に上って行く



オカオグルマ



ナルコユリ?



咲いてる、咲いてる！



シラン





山頂が近づいてきた 12時23分



ホタルカズラ

花散策をしながら上っていると、時間を忘れてしまう。気が付けばかなり上っている。



振り返ると見晴台が見える 12時23分 ハッキリした踏み跡で上ってきた



ワラビの葉



カノコソウ

上り詰めると、不動山の山頂碑近くに辿り着いた。
左に曲がって主稜線へ出る。少し休憩。地図を見ながらルート確認！



4、不動山 右に進めば、山頂碑はすぐそこだが、パスして逆方向の堂金山へ 12時24分

	
<p>堂金山へ向かう 12時31分</p>	<p>カノコソウがたくさん咲いている</p>
	
<p>道の両サイドはワラビの葉(採取は禁止)</p>	<p>ホタルカズラ</p>



堂金山へ続くルート 12時33分 貫山までの奥深い風景



大勢の人がこちらに向かって歩いて来る 12時35分 子どもたちの挨拶は元気がいい
ガイドさんが引率していたので、自然観察センターの散策ツアーだろうか？



風もなく穏やかな気候 12時43分

山頂碑が見えてきた 12時45分



シランが石灰岩に寄り添うように咲いている 12時46分



堂金山で腰を下ろして🍷おにぎりタイム



堂金山からかがり火盆地を見下ろす 12時56分 今日終日曇天で夕方から雨予報



休憩後往路で不動山へ 13時05分

足を止めて撮影タイム



辺り一面シランが咲いている



若干傷んでいるが、とても綺麗なシラン

 <p>撮影を終えて不動山へ 13時16分</p>	 <p>見晴台から上って合流した地点を通過</p>
	<p>6、不動山 13時22分 404m なんてことだ、山頂碑が真っ二つ。葛(かずら)で修復されているが、ちょっと悲しい。</p>  <p>痛々しい山頂碑</p>
 <p>絶滅危惧種:花言葉は「何も求めない」</p>	 <p>準絶滅危惧種:花言葉は「変わらぬ愛」</p>
 <p>開拓時代の段々畑の跡？</p>	 <p>藪が多くて行けそうもない矢山？</p>



休憩後、不動坂を下る 13時39分



空模様が怪しくなってきた



7、不動坂を一気に下る 13時41分 遠くでトレイルランナーが走っている



不動坂を下り終えて右へ。初めて歩く道だ！

8、不動洞への分岐 13時43分 右へ
真っ直ぐ斜面を上ると風神山へ。左に下ると不動洞へ。右に進むとどこに通じる？



	
<p>不動山の麓は広い農道 13時45分</p>	<p>左は大きく深いドリーネ 13時46分</p>
	
<p>畑にはイノシシ避けの電気柵</p>	<p>ホタルカズラ</p>
	<p>農道を進む 13時53分</p> <p>畑を通り過ぎ農道を進むと、遠く目線の先に白い家がたくさん並んでいる。あそこは平尾台自然の郷だが、何だろう？調べてみると、白い家と思ったのは、テントだった。平尾台自然の郷で、3日前の5月1日にOPENしたばかりの、グランピングと言う、一人一泊2万円のリッチなキャンプ施設だった。</p>
	<p>9、車道へ合流 13時57分</p> <p>ここは、見覚えのある場所。今日スタートして間もなく歩いた車道で、牡鹿洞から見晴台に行く途中にあった、一つ目の進入禁止場所(11時48分地点)である。また新たなルートを歩くことが出来て満足。自作の地図に追加しよう！ここから左に進むと平尾台自然観察センターの駐車場。</p>

沿道の花散策しながら駐車場へ

	<p>牡鹿鍾乳洞の入り口を通過 14時03分 ここからも正面にグランピングのテントが見えている。往路は牡鹿洞から出てきた。</p>  <p>帰路は直進</p>
 <p>ツルニチニチソウ</p>	 <p>県道28号の点滅信号が見える 14時07分</p>
 <p>車道(点滅信号)を渡れば・・・</p>	 <p>10、平尾台自然観察センター 14時09分</p>

所要時間は2時間42分。スマホの歩数計は7852歩だった。

今日はシラン観賞が目的で平尾台にやってきたが、思ったより数が少なかった。

今年は全般的に花の咲く時期がいつもより早くてタイミングが難しい。

ゆっくりしたペースでの3時間弱のハイキングは、家族連れには最適！

今回のコースは、登山経験のない方でも安心して歩くことが出来て、お薦めコース！

お疲れ様でした。